

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

◇本校ESDの目標

- 地域の人とのつながりを大切にし、地域の方々の支援を受けながら、今の自分にできることを実践しようとする持続可能な社会の担い手を育成する。

◇本校ESDの推進方針

- 地域からの学び、地域からの行動を基本にすえ、地域との連携によるESDを推進する。
- 各教科・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動・その他の教育活動と関連させる。
- 体験を重視し、自発性・自主性が育まれるような気付きの学びとしての参加型学習を行う。
- ESDに関する資料を収集・蓄積し、活用を図ると共に、その取組を積極的に発信する。

◇各学年の主な活動内容

- 1年「ひとつぶのたねから」2年「おいしい野菜を育てよう」4月～11月
 - ・地域の方をGTに招き、野菜の植え方や育て方などについて教えていただきながら、『野菜の種まき・苗植え～世話～収穫～食べる』までの体験活動を行った。
- 3年「駿馬南探検隊」「エンジョイ！日本の伝統」
 - ・校区や大牟田市の歴史、日本の伝統文化について調べる中で、先人の思いや願いについて知ることができた。
 - ・福祉施設、公民館など地域の施設に贈ることをめあてに、社会福祉協議会や公民館関係者の方々の支援を受けながら、心を込めてミニ門松を作る。
 - ・作ったミニ門松を、社会福祉協議会や公民館関係者の方々と一緒に、地域の施設に届けた。
- 3年「駿馬南探検隊～花いっぱい運動～」4月～7月
 - ・地域の施設へ贈ることをめあてに、心を込めて育てた花を各施設に届ける。
 - ・社会福祉協議会や公民館関係者等の支援を受けながら、花苗（マリーゴールド、ペチュニア等）をプランターに植えた。
 - ・水かけなど、世話をした。
 - ・社会福祉協議会や公民館関係者等の支援を受けながら、地域の施設（福祉施設、公民館、病院等）に、プランターを届けた。



○4年「諏訪川探検隊」

- ・自分たちの住む地域を流れる諏訪川について調査を行い，地域の自然や歴史についての課題をつかんだ。
- ・課題別グループに分かれて，諏訪川について詳しく調べる計画を立てた。
- ・諏訪川の自然を守るために活動されている地域の方に話を聞いた。
- ・カヌー体験を通して，川の様子を体感した。
- ・調べたことをまとめ，グループごとに発表した。



○4，5年「一人暮らし高齢者訪問」（4月～9月）

- ・大牟田市や校区の高齢化の実態を知り，校区の一人暮らしの高齢者の方に対して，自分たちにできることは何かを考えた。
- ・校区の一人暮らし高齢者の方に届けるプレゼントと手紙を準備するとともに，訪問の計画を立てた。
- ・公民館関係者や民生委員，PTA地域委員の方々の支援を受けながら，一人暮らし高齢者の方の家を訪問し，交流した。
- ・訪問した体験をもとに，さらに自分たちにできることを考え，実行した。



○6年「認知症について知ろう」9月～12月

- ・高齢者の増加に伴う認知症の現状や校区の先進的な「見守り声かけ模擬訓練」に関心を持ち，調べた。
- ・大牟田市認知症ケア研修会の方々をGTに招き，認知症紙芝居やグループ討議を体験し，認知症の高齢者の方とのさまざまなケースでの接し方について考えた。
- ・GTからのアドバイスをもち，さまざまなケースでの高齢者の方との接し方について考えたことを模造紙にまとめ，それをもとに考えを交流した。
- ・「認知症になっても住みよい町づくり」のために，自分たちにできることは何か考え，どのように表現・実践していくか話し合った。
- ・次のような取組を計画し，実践した。

取組①：模造紙やポスターに、表現し、配布する。

取組②：「ゴミのない町」をめざし、自主的に朝の活動や下校時にゴミ拾い活動を行った。

取組③：「あいさつに一言プラス」活動を考え、地域の方に「おはようございます。今日は寒いですね。」など、コミュニケーションを深めるような挨拶を実践した。

- ・自分たちの考えたことや実践したことを地域の方に発信した。
- ・地域行事に積極的に参加し、お手伝いをした。（敬老会での案内役、人情巻き寿司大会における準備など）
- ・ゴミを落とさないよう呼びかける趣旨のポスターを作成し、公民館や地域に掲示してもらった。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）